

【】 平安京と東アジアの変化

【】 桓武天皇の時代

[平安京]

[問題]

平安京に都を移し、政治を立て直そうとした天皇はだれか。

(香川県)

[解答欄]

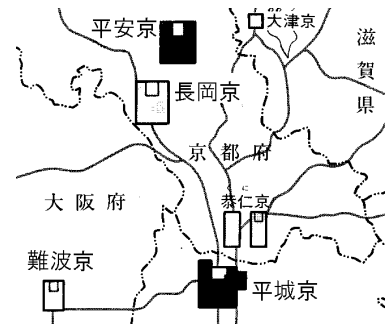
--

[解答]桓武天皇

[解説]

奈良時代の後半には、貴族や僧の間で勢力争いが激しくなり、政治が混乱した。そこで、桓武天皇は、新しい都で政治を立て直そうとして、784年に都を長岡京に移

[平安京]  
桓武天皇 794年  
貴族や僧の間の勢力争いで政治が混乱したため



し、ついで794年に都を平安京(今の京都市)に移した。そのさい、仏教の勢力が政治と結びつくのをきらい、奈良にある寺が平安京に移ることを禁じた。(鳴くよ(794)ウグイス平安京)

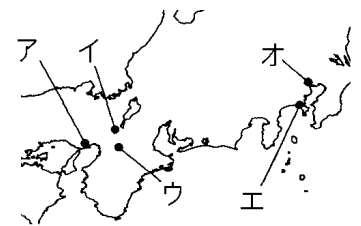
794年から1185年に鎌倉幕府が成立するまでの約400年間を平安時代という。

[問題]

8世紀末、桓武天皇は都を現在の京都の位置に移した。

これについて、次の各問いに答えよ。

- (1) この新しい都を何というか。
- (2) (1)の位置を、右の地図中のア～オから1つ選んで記号で答えよ。



(山梨県・鳥取県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 平安京 (2) イ

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 桓武天皇が平安京に都を移したのは西暦何年か。
- (2) 桓武天皇が都を移した理由としてあてはまるものを次から1つ選べ。
  - ア 奈良の都がせまくなったため。
  - イ 貴族や僧の間で勢力争いが激しくなり、政治が混乱したため。
  - ウ 朝廷の税による収入がふえたため。

(補充問題)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 794年 (2) イ

[問題]

都が平城京から新しい地に移されたとき、寺院は移されずにそのまま残された。それはなぜか。その理由を、「僧」の語句を用いて簡潔に書け。

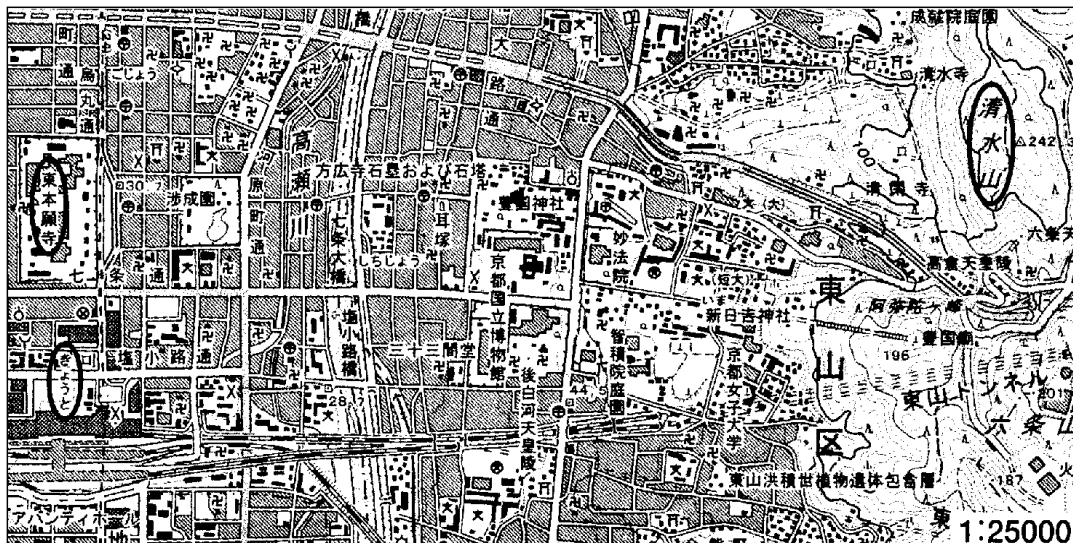
(奈良県)

[解答欄]

[解答]僧が政治を混乱させたから。

[問題]

平安時代に都のあった京都市の街のつくりは、唐の都の長安にならってつくられたなごりを残している。それはどのようなことからわかるか。下の地図から読み取れることを簡潔に書け。



(宮崎県)

[解答欄]

[解答]道路が碁盤の目状につくられていることから読み取れる。

[解説]

平城京と同様に、平安京も、中国の唐の都である長安を手本としてつくられた。道路が碁盤の目状につくられているのは長安の影響である。

[問題]

平安時代は約(100/200/300/400)年間続いた。( )内より適切な数字を選べ。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]400

[東北への支配の拡大]

[問題]

平安時代の初期に朝廷は、東北地方の支配に力を入れ、坂上田村麻呂を①(太政大臣/征夷大將軍)に任命し、東北地方の蝦夷の拠点攻撃した。これに対して、蝦夷は②(シャクシャイン/アテルイ)などをリーダーに団結して抵抗した。文中の①、②に適語を入れよ。

(熊本県)

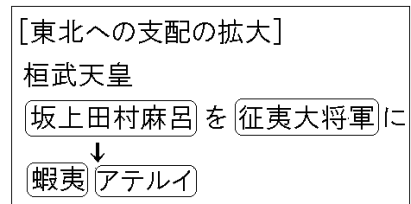
[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 征夷大將軍 ② アテルイ

[解説]

平安時代初期のころ、律令国家の支配が及んだのは関東地方までであった。東北地方に住む人々は、朝廷から異種の文化をもつ異民族あつかいにされ、蝦夷と呼ばれた。朝廷はしだいに東北地方への支配を拡大していったが、これに対し蝦夷の人々は、アテルイを指導者として激しく抵抗した。桓武天皇は、797年に坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命した。801年、坂上田村麻呂は、4万人の朝廷軍を率いて胆沢地方を平定し、翌年、大きな胆沢城を造った。アテルイは、軍を率いて降伏した。



[問題]

平安時代初期，東北地方にすむ人々は( ① )と呼ばれていた。桓武天皇は，( ② )を征夷大將軍に任命して遠征させた。文中の①，②に適語を入れよ。

(新潟県改)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 蝦夷 ② 坂上田村麻呂

[問題]

胆沢城や志波城が坂上田村麻呂によって築かれ東北地方に対する朝廷の勢力が広まった。このときの天皇はだれか，次から1人選べ。

[ 推古天皇 天智天皇 聖武天皇 桓武天皇 ]

(秋田県)

[解答欄]

--

[解答]桓武天皇

[問題]

次の文は，桓武天皇のころの朝廷について説明したものである。文中の①～③の( )内からそれぞれ適語を選べ。

地方の政治を立て直すため，①(国司／防人)に対する監視をきびしくした。また，坂上田村麻呂を②(太政大臣／征夷大將軍)とする軍を③(東北／九州)へ送り，その勢力を広げた。

(富山県)

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 国司 ② 征夷大將軍 ③ 東北

[問題]

桓武天皇の時代，九州地方の政治と外交や防衛の中心となった役所を何というか。

(福井県)

[解答欄]

--

[解答]太宰府

[空海と最澄]

[問題]

遣唐使とともに唐へわたって仏教を学び、帰国後、真言宗を広めた人物は誰か。

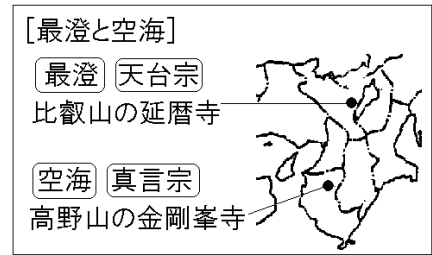
(京都府)

[解答欄]

[解答]空海

[解説]

奈良時代、仏教が政治と結びついて腐敗したため、桓武天皇は僧侶の資格を厳しくするなどして、それをあらためようとした。これに応じて仏教界にも改革の動きが起こった。最澄と空海は、教典の研究を中心とする奈良仏教にあきたらず、仏教の本来のあり方を求めて修行を重ね、遣唐使にしたがって唐にわたった。



帰国後、最澄は比叡山に延暦寺(滋賀県・京都府)を建てて天台宗を、空海は高野山に金剛峯寺(和歌山県)を建てて真言宗を開いた。いずれも、人里はなれた山奥の寺で学問や厳しい修行を行った。やがてこの新しい仏教は、貴族たちの間に広く受け入れられていった。

[問題]

高野山には、金剛峯寺がある。この寺は、唐で新しい仏教を学んだ( ① )が、帰国後、( ② )宗を広めるために建てたものである。文中の①、②に適語を入れよ。

(茨城県改)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 空海 ② 真言

[問題]

比叡山延暦寺のもとを築いた( ① )は、中国で( ② )宗を学び日本に広めた。文中の①、②に適語を入れよ。

(和歌山県改)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 最澄 ② 天台

[問題]

比叡山延暦寺のもとを築いた最澄は、唐で仏教を学んだ。唐が栄えたころ、現在のシーア  
ンにあった唐の都は、周辺の諸国から商人や留学生、留学僧が多く集まる国際色豊かな都市  
であった。その唐の都の名を書け。

(大阪府)

[解答欄]

[解答]長安

[問題]

平安時代に真言宗が開かれたが、当時の真言宗に関することがらとして正しいものを、次  
のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア 宋から伝えられたもので、広く武士の間に受け入れられた。

イ 極楽浄土に生まれかわることを願う人々に広く受け入れられた。

ウ 念仏をとなえるだけで救われるとする教えは、おもに庶民の信仰を集めた。

エ 願いをかなえるための祈りや儀式、まじないによって、おもに貴族に重んじられた。

(熊本県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

アは鎌倉時代の禪宗。イは平安後期の浄土教。ウは鎌倉時代の浄土宗。

## 【】 東アジアの変化

[遣唐使の停止]

[問題]

遣唐使の停止を提案した人物はだれか。次の[ ]から選べ。

[ 菅原道真 藤原純友 平清盛 坂上田村麻呂 ]

(香川県)

[解答欄]

--

[解答]菅原道真

[解説]

7世紀の初めに隋にかわって中国を統一した唐は、その後、発展をとげた。日本は遣唐使を通じてその文化や政治制度を取り入れた。しかし、9世紀後半には唐の勢力がおとろえ、もうそれ以上学び取るべきものは少なくな

っていた。また、当時の船は平底で横波に極端に弱かったため、嵐にあつて遭難する確率が非常に高かった。遣唐使に任命された菅原道真は、894年、唐のおとろえと往復の危険を理由に遣唐使停止の建白を出して承認された。(白紙(894)に返せ遣唐使)菅原道真は、藤原氏をおさえるために天皇によって引き立てられた人であるが、その後、藤原氏の陰謀によって太宰府(福岡県)に左遷された。

[遣唐使の停止]

894年:菅原道真が建白

理由:唐のおとろえと往復の危険

[問題]

9世紀になると唐では国内で反乱があい次ぎ、勢力が急速におとろえた。それらを理由に日本から使節の派遣を停止した。これについて、次の各問いに答えよ。

- (1) 停止した使節を何というか。
- (2) (1)の停止を進言した人物はだれか。
- (3) (1)を停止することにした理由として適切でないものを1つ選べ。
  - ア 学ぶものが少なくなったから。
  - イ 唐が減んだから。
  - ウ 航海が危険だったから。

(補充問題)

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 遣唐使 (2) 菅原道真 (3) イ

[解説]

(3) 唐がほろんだのは10世紀はじめであるので、イが誤り。

[問題]

日本が遣唐使を停止した最も大きな理由は何か。「唐」という語句を使って簡潔に書け。

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]唐がおとろえて、それ以上学ぶべきものが少なくなったから。

[宋・高麗]

[問題]

9～10世紀ごろの中国のようすについて述べたものを、次のア～エから1つ選べ。

- ア 清が成立し支配領域を広げた。
- イ 漢が領土を広げ、西方との交通路も開かれた。
- ウ 秦が中国を統一し、政治のしくみを整えた。
- エ 唐の国内が乱れ、勢力が急速に衰えていった。

(富山県)

[解答欄]

[解答]エ

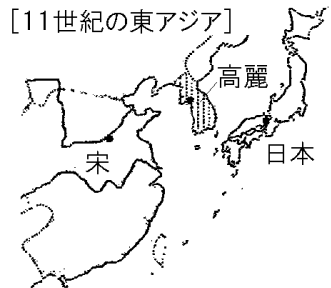
[解説]

中国では、唐が10世紀の初めに滅び、数十年の内乱の後、10世紀後半に宋が国内を統一した。朝鮮半島では10世紀の初めに高麗がおこり、やがて新羅をほろぼした。日本は宋や高麗

[東アジアの変化]

- 894年 遣唐使の停止
- 907年 唐が滅ぶ
- 936年 高麗が朝鮮半島を統一
- 960年 宋がおこる

[11世紀の東アジア]



とは正式な国交を結ばなかったが、両国の商人が交易を行った。

[問題]

唐は10世紀のはじめにほろび、小国の分立を経て、( ① )が中国を統一した。同じころ朝鮮半島には( ② )がおこった。これらの国との公式な交流はなかったが、商人たちが日本に文物をもたらした。文中の①、②のに適語を入れよ。

(補充問題)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 宋 ② 高麗



## 【】 摂関政治と国風文化

### 【】 摂関政治

#### [問題]

藤原氏はどのようにして勢力をのばしたか。「娘」「天皇」「きさき」という語句を使って説明せよ。

(佐賀県改)

#### [解答欄]

[解答]娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てることで勢力をのばした。

#### [解説]

藤原氏は他の貴族をしりぞけて次第に権力をにぎっていったが、その秘訣は、自分の娘を天皇のきさきとすることであった。娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てることで勢力をのばした。藤原

#### [藤原氏の勢力拡張方法]

娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てることで勢力をのばした。

氏の全盛時代を築いた藤原道長は4人の娘をつぎつぎに皇后や皇太子妃として、30年にわたって朝廷内で大きな権勢をふるった。

#### [問題]

藤原道長の一族は、自分の娘を天皇のきさきとし、天皇が幼いときだけでなく、成人したあとも政治の実権を握った。このような政治のしくみを何というか、漢字で書け。

(富山県)

#### [解答欄]

[解答]摂関政治

#### [解説]

他の貴族をしりぞけて勢力をのばした藤原氏は、9世紀後半には、天皇が幼いときは摂政、成人してからは関白の職につき、政治の実権をにぎるようになった。これを摂関政治という。藤原氏は11世紀ころ、藤原道長とその子藤原頼通の時代に全盛期を迎えた。藤原道長は4人の娘をつぎつぎに皇后や皇太子妃とし、30年にわたって権勢をふるった。(威令広(1016)まる道長さん) その子藤原頼通は3天皇50年間にわたって摂政・関白をつとめた。藤原頼通は、浄土信仰の影響を受けて、宇治に平等院鳳凰堂をつくった。

#### [藤原氏の摂関政治]

天皇が幼いときは摂政  
天皇が成人すると関白

11世紀 藤原道長・藤原頼通  
最盛期

[問題]

藤原氏は娘を天皇のきさきにし、その子を天皇に立て、天皇が幼いときは( ① ), 成人したのちは( ② )という職について政治を動かした。文中の①, ②に適語を入れよ。

(茨城県・山形県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 摂政 ② 関白

[問題]

藤原道長とその子頼通のときに最もさかんであった政治のしくみについて、「天皇」「関白」の2つのことばを用いて書け。

(岡山県)

[解答欄]

--

[解答]天皇が幼いときは摂政, 成長すると関白の職について, 政治の実権をにぎり, 天皇にかわって政治を動かす摂関政治であった。

[問題]

「この世をば わが世とぞ思ふ もち月の かけたることも なしと思へば」という歌をよんだ人物を次から選べ。

[ 藤原鎌足 菅原道真 藤原道長 平清盛 ]

(秋田県)

[解答欄]

--

[解答]藤原道長

[解説]

道長は、娘の一人を天皇のきさきとすることに成功したとき、自分の権勢が絶頂期にあるうれしさを「この世をばわが世とぞ思ふ 望月の かけたることも 無しと思へば(この世は私のためにあるようなものだ。満月の欠けたところがないように私の思うようにならない事は一つも無い)」という歌で表している。さらに、藤原道長の子である頼通は、3天皇50年間にわたって摂政・関白をつとめ、我が世の榮華を楽しんだ。

[問題]

「天下の荘園はことごとく摂関家のもので、公領は錐(きり)を立てるわずかな土地ほどもないのか。悲しい世である。」(小右記より部分要約) この資料の内容と最もかかわりのあるものを、次のア～エから1つ選び、記号を書け。

ア 聖武天皇のころの朝廷

イ 道長や頼通のころの藤原氏

ウ 清盛のころの平氏

エ 義満のころの足利氏

(長野県)

[解答欄]

[解答]イ

[問題]

次の各問いに答えよ。

(1) 摂関政治が行われたのは何時代か。

(2) (1)の時代、都に住んで、天皇とともに政治・文化の中心となっていたのはどんな身分の人々か。

(徳島県・福井県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 平安時代 (2) 貴族

[問題]

右図は東三条殿という寝殿造の邸宅を復元した模型である。東三条殿は、摂政や関白などの地位について権力をもっていた貴族の邸宅であるが、その貴族とは何氏か。

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]藤原氏



[荘園]

[問題]

道長・頼通のときに全盛期をむかえた藤原氏は、朝廷の役職の多くを一族で占め、国司のおくりものや所有する土地である( )からの収入などで、はなやかな生活を送った。文中の( )内に入れる適語を答えよ。

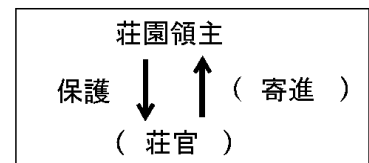
(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]荘園

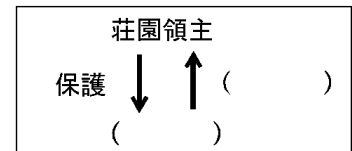
[解説]

藤原氏繁栄の経済的基礎は荘園という私有地であった。有力な農民の中には、土地を有力貴族や大きな寺社に寄進して、税の免除を受け、自分は名目上は荘管になって、有力貴族等に(税よりは少ない)年貢を納めるようになった。このようにして藤原氏へ寄進される荘園が増加し、そこから上がってくる年貢によって、はなやかでぜいたくな生活を送った。



[問題]

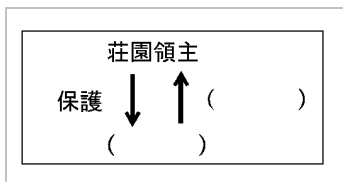
平安時代のころ、荘園は全国的に急増した。右の図は当時の荘園制のしくみを表したものである。次の語句から、図中の( )にあてはまるものをそれぞれ1つずつ選び、図を完成せよ。



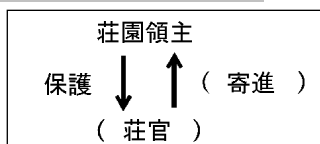
[ 百姓代 荘官 防人 寄進 石高 寄合 ]

(奈良県)

[解答欄]



[解答]



[地方政治の乱れ]

[問題]

次の文は、地方の政治を行っていた国司について述べたものである。次のア～エの中から、摂関政治が行われていたころのようすをあらわしたものとして、最も適当なものを1つ選べ。

ア 諸国には中央から国司が派遣され、政治を行うしくみが整った。

イ 国司の持っていた権限は守護大名によって吸収されていった。

ウ 任地に代理を送って収入だけを得る国司が多くなった。

エ 東大寺に大仏をつくるため、国司は必要な物資と農民を都に送った。

(福島県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

摂関政治のころの朝廷の政治は先例や儀式を重んじる形式的なものとなり、国政に関して積極的な政策をとることはほとんど見られなくなっていた。朝廷の国司への監督がおろそかになったため、国司の中には4年の任期中に不正な税の取り立てをして財を蓄える者が少なくなかった。また、任地には代理を送って、収入だけを得たりする国司が多かった。国司が暴政を行い、政治が乱れてくると、土地所有権をめぐる国司と豪族、豪族と豪族の争いがおこり、また、盗賊の横行など治安の乱れもひどくなってきた。

こうした状況の中で、豪族や有力な農民は土地を守るために弓矢や刀で武装するようになり、国司の税の取り立てに対抗したり、たがいに争ったりするようになった。こうして10世紀ころに武士が発生した。

[問題]

わが国では、10世紀に入ると、地方を支配するしくみが大きく変わった。それはどのように変わったのか。「国司」という語句を用いて、簡単に書け。

(香川県)

[解答欄]

[解答]地方の政治は、国司にほとんど任されるようになった。

【】国風文化・浄土信仰

[国風文化]

[問題]

仮名文字を使って源氏物語などのすぐれた文学作品が書かれた時代の文化は何とよばれているか。次から1つ選べ。

[ 国風文化 飛鳥文化 天平文化 桃山文化 ]

(大阪府)

[解答欄]

[解答]国風文化

[解説]

平安時代半ばの貴族たちは、唐風の文化をふまえながらも、日本の風土や生活、日本人の感情に合った文化を生み出していった。これを国風文化という。国風文化のなかで一番重要なのは、わが国独自の仮名文字が發明されたことである。それまで、文章は漢字を用いて漢文で書くか、万葉仮名のように漢字の音を借用して書き表すよりほかなかった。例えば、「から衣 すそに取りつき 泣く子らを 置きてぞ来ぬや 母なしにして」という万葉集に収められている防人の歌は、もともと万葉仮名で「可良己呂武須宗…」と書き表されるが、これは書くのも読むのも大変であった。そこで、漢字の一部をとって片仮名が作られ、万葉仮名に使われた漢字のくずし字から平仮名が作られた。平仮名はおもに女性の間で使われた。仮名文字は、それまでの漢文と違って、細やかな感情をそのまま書き表すことを容易にし、国文学の発達をもたらした。和歌の分野では、紀貫之が編集した古今和歌集、小説では紫式部の源氏物語、随筆では清少納言の枕草子が名高い。

[[国風文化]]

仮名文字の發明→国文学の発達

源氏物語 紫式部

枕草子 清少納言

古今和歌集 紀貫之らが編集

[問題]

漢字から( )がつくられるようになり、感情や心の変化をあらわしやすくなった。そして、それを使った物語や日記などのすぐれた文学作品が生まれた。文中の( )に適語を入れよ。

(長野県)

[解答欄]

[解答]仮名文字

[問題]

10～11世紀、文化の国風化が進んだ。その代表的な例としては、①(漢字／仮名文字)が発達し、普及した。(①)を用いた②(源氏物語／日本書紀)などの文学作品も生まれた。文中の①、②の( )内より適語を選べ。

(秋田県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 仮名文字 ② 源氏物語

[問題]

平安時代には、唐風の文化を、わが国の貴族の生活や好みに合わせようとする工夫がなされ、独自の文化である①(天平文化／国風文化)が生まれた。また、漢字から、仮名文字を作り出し、②(万葉集／古今和歌集)などのすぐれた文学作品が生まれている。文中の①、②の( )内からそれぞれ適語を選べ。

(新潟県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 国風文化 ② 古今和歌集

[問題]

仮名文字を用いて書かれた文学作品はどれか、[ ]の中からすべて選べ。

[ 古事記 源氏物語 枕草子 日本書紀 ]

(京都府)

[解答欄]

--

[解答]源氏物語、枕草子

[問題]

①仮名文字を使って光源氏を主人公とする長編小説を書き、藤原氏が栄えた平安時代の貴族社会を描いたのは誰か。②その長編小説の名前を答えよ。

(鳥取県・佐賀県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 紫式部 ② 源氏物語

[問題]

「枕草子」の作者の名を漢字で書け。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]清少納言

[問題]

次の各問いに答えよ。

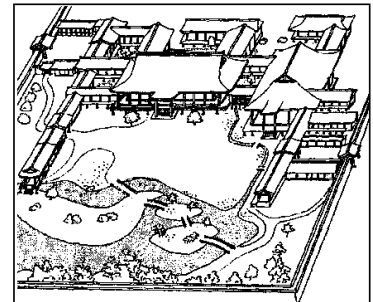
(1) 右の図は、代表的な貴族の住居である。何造と呼ばれるものか。

(2) 平安時代にさかんにえがかれた絵を何というか。

(群馬県改)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----



[解答](1) 寝殿造 (2) 大和絵

[解説]

貴族たちの服装は日本風にかわり、上級貴族は、美しい自然を庭園に取り入れた寝殿造の邸宅に住んだ。絵画にも日本の風景や人物が描かれるようになり、大和絵とよばれた。

[問題]

「国風文化」について説明したものを2つ選べ。

ア 「古事記」や「日本書紀」などの歴史書がつくられた。

イ 紫式部によって、「源氏物語」が書かれた。

ウ 東大寺南大門の金剛力士像がつくられた。

エ 貴族の住居として、寝殿造の邸宅が建てられた。

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]イとエ

[解説]

アは奈良時代、ウは鎌倉時代の文化である。



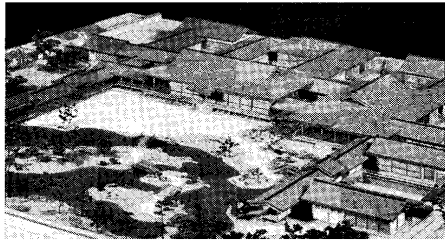
[問題]

遣唐使停止の後に日本では文化の国風化が進んだが、国風文化の特徴を示すものとして適当でないものを、次のア～エから1つ選んで記号で答えよ。

ア



イ



ウ



エ



(島根県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

アは奈良時代の正倉院におさめられている漆胡瓶。イは寝殿造，ウは「源氏物語絵巻」，エは「仮名文字」で，国風文化の特徴を示している。

[問題]

古代の文化のおもな担い手を，1つ選んで記号を書け。

[ 公家や武家 天皇や貴族 武将や豪商 武士や民衆 ]

(秋田県)

[解答欄]

[解答]天皇や貴族

[問題]

国風文化が最も栄えたのは，藤原氏による(摂関政治／建武の新政／院政)のころであった。文中の( )内より適語を選べ。

(北海道)

[解答欄]

[解答]摂関政治

[浄土信仰]

[問題]

右の建物は、阿弥陀仏にすがって、死後に極楽( X )に生まれ変わることを願う(X)信仰を背景として、藤原頼通が宇治に建立したものである。文中の X に適語を入れよ。



(岡山県)

[解答欄]

[解答]浄土

[解説]

平安時代中ごろ、盗賊の横行など社会が乱れた。このころ、シャカの死後 2000 年から末法の世になるという末法思想が広まり、阿弥陀如来にすがって念仏を唱えれば極楽浄土に生まれ変わることができるという浄土信仰が、不安をつのらせた貴族や庶民の心をとらえた。

藤原頼通は、この世に極楽浄土のようすを表そうとして、宇治(現在の京都府宇治市)に寝殿造の平等院鳳凰堂(右図)を建てた。また、奥州藤原氏は平泉に中尊寺金色堂を建てた。

[浄土信仰]

阿弥陀如来, 念仏, 極楽浄土

平等院鳳凰堂(宇治):藤原頼通  
中尊寺金色堂(平泉)

(平等院鳳凰堂)



[問題]

右図は藤原頼通によって建てられた建造物である。図の建造物が建てられたころの日本のようすについて述べた文を、次のア～ウの中から 1 つ選び、記号で答えよ。



ア 禅宗などの、わかりやすく実行しやすい新しい仏教の教えが、民衆や武士の間に広まった。

イ 世の中が乱れ、極楽浄土に生まれかわることを願う浄土信仰が人々の心をとらえた。

ウ 仏教の力で国家を守ろうと考えた天皇が、国ごとに国分寺を建て、都に金銅の大仏を造った。

(静岡県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

アは鎌倉時代。ウは奈良時代。

[問題]

右の歴史的建造物の名称を，次から選べ。

[ 銀閣寺 正倉院 日光東照宮 平等院鳳凰堂 ]

(青森県)

[解答欄]

[解答]平等院鳳凰堂



(撰関政治全盛期の建物)

[問題]

右の写真 A, B のうちのどちらかは，阿弥陀仏(阿弥陀如来)にすぎる浄土信仰が広まった時期の建築物である。この時期の建造物とそれを建てた人物の組み合わせとして，最も適切なものを，次のア～エから1つ選び，記号で答えよ。

ア 写真 A－藤原頼通

イ 写真 A－足利義政

ウ 写真 B－藤原頼通

エ 写真 B－足利義政

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]ア

写真A



写真B



[問題]

平等院鳳凰堂に最も関係の深い事から下のア～エから1つ選び，記号で答えよ。

ア 極楽浄土の教えによって建てられた。

イ 東大寺にある建築物である。

ウ 日本に仏教が伝わったころに建てられた。

エ 国分寺の1つとして建てられた。

(沖縄県)

[解答欄]

[解答]ア

[問題]

右の写真のような阿弥陀如来像がさかんにつくられた背景として最も適当なものを，次のア～エから 1 つ選んで記号で答えよ。



ア 法隆寺などの寺院が，豪族の権威を象徴するものとして建てられた。

イ 仏教の力で国を守るため，国ごとに国分寺や国分尼寺が建てられた。

ウ 社会不安が高まり，死後に極楽浄土へ生まれ変わりを願う浄土信仰がおこった。

エ 宋にわたった栄西や道元が，座禅によって自分の力でさとりを得ようとする禅宗を伝えた。

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]ウ

[問題]

金や馬などの産物によって栄えた豪族の奥州藤原氏が，浄土へのあこがれから平泉の中尊寺につくった建物を何というか。

(栃木県)

[解答欄]

[解答]中尊寺金色堂

[解説]

11 世紀末から 12 世紀にかけて，東北地方の平泉を根拠地に奥州藤原氏が勢力をふるった。中尊寺金色堂は，浄土へのあこがれから平泉の中尊寺につくった阿弥陀堂で，建物の各所に金ばくをほどこし，この時期の繁栄を象徴している。



[問題]

次の各問いに答えよ。

(1) 中尊寺金色堂を建て、平泉を中心に栄えた一族は何氏か。

(2) 中尊寺金色堂のある平泉の場所を、地図中のア～エから

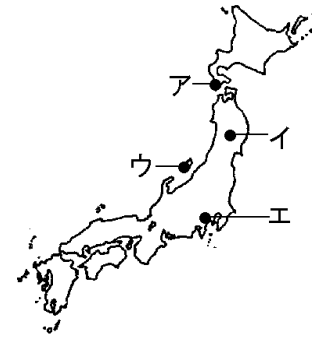
1つ選び、記号で答えよ。

(山口県・石川県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 奥州藤原氏 (2) イ



【】 武士・院政

【】 武士の発生と成長

[武士の発生]

[問題]

次の文章中の①～④に適語を入れよ。

10世紀になると、地方で大きな変化が起き、豪族が開墾した私有地を領地として広げ、国の警備に武力を発揮し勢力をのばした。都では、朝廷の武官が貴族の身辺や屋敷の警備を行い、実力を認められていった。この地方の豪族と中央の武官との、婚姻や主従関係を結ぶなどの交流の中から( ① )がおこり、(①)はやがて家来をまとめて( ② )をつくるほどに成長していった。(②)のなかでも天皇の子孫とされる( ③ )氏と( ④ )氏のひきいる勢力が最も有力になった。(③と④は順不同)

(補充問題)

[解答欄]

①	②	③	④
---	---	---	---

[解答]① 武士 ② 武士団 ③ 源 ④ 平(③と④は順不同)

[解説]

10世紀になると、都や地方では<sup>ぶし</sup>武士が成長し始めた。武士は、もともとは弓矢や馬などの戦いの技術に優れた都の武官や地方の豪族たちで、朝廷や国府の役人になって、天皇の住まいや<sup>けいび</sup>役所の警備、犯罪の取りしまりなどを担当するようになった。やがて地方の武士たちは、貴族を主人にむかえ、多くの家来を従えて<sup>ぶしだん</sup>武士団を作るほどに成長していった。成長した武士団の中でも有力であったのは、天皇の子孫である<sup>げんじ</sup>源氏と<sup>へいし</sup>平氏であった。

[武士の発生]  
10世紀ごろ  
↓  
武士団  
(源氏や平氏)

[問題]

武士と呼ばれるようになった人々について述べた文として誤っているものを、以下の選択肢から1つ選んで、記号で答えよ。

- ア 天皇の住まいや役所の警備を担当した。
- イ 犯罪の取りしまりを行った。
- ウ 地方の武士の中には、武士団を作るものもいた。
- エ 朝廷に従わない悪党とよばれる武士もあらわれた。

(補充問題)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]エの悪党は鎌倉時代末期に登場した。

[平将門・藤原純友]

[問題]

10 世紀中ごろ、関東では( )が、瀬戸内海では藤原純友が反乱をおこした。朝廷は、地方の武士の力をかりて、この 2 つの反乱をおさえることができた。

(栃木県)

[解答欄]

[解答]平将門

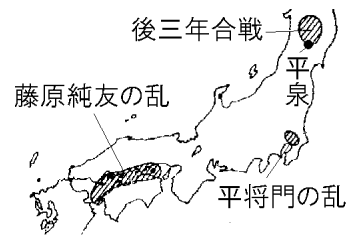
[解説]

10 世紀の半ば、東西で武士の反乱が起こった。関東では、935 年に平将門が国の役所を襲い、自ら新皇(新しい天皇)と名のり、一時期、関東地方の大半を支配した。(組み込む(935)大軍平将門の乱) また、瀬戸内では藤原純友が海賊を率いて、国の役所や大宰府をおそった。朝廷は、他の武士団の力をかりてこの 2 つの反乱をようやくしずめることができた。

東北では、蝦夷の子孫である阿倍氏や清原氏が力をのぼしていたが、11 世紀の後半に、かれらの勢力争いで前九年合戦・後三年合戦が起こった。朝廷から派遣された源義家が、関東の武士を率いてこれをしずめたので、源氏の武士団は東日本で大きな勢力となっていく。後三年合戦以降、陸奥・出羽地方を支配したのは奥州の藤原氏であった。奥州の藤原氏は、平泉を根拠地として栄え、浄土信仰の影響を受けた中尊寺金色堂を建てた。12 世紀前半には瀬戸内海を海賊をしずめた平氏が西日本に勢力をのぼした。

[武士の成長]

935年 平将門の反乱  
 939年 藤原純友の反乱  
 1051年 前九年合戦  
 1083年 後三年合戦  
 奥州の藤原氏(平泉)



[問題]

次の各問いに答えよ。

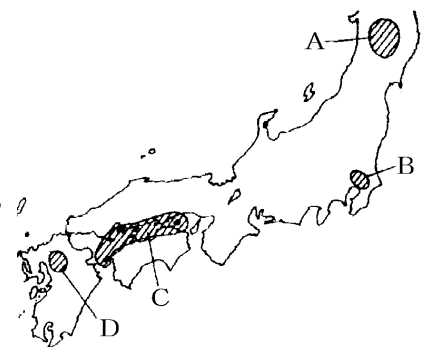
- (1) 10 世紀の中ごろ、反乱をおこし、自ら新皇(新しい天皇)と名乗ったのは誰か。また、その場所は右の地図の A~D のどこか。
- (2) 10 世紀の中ごろ、海賊を率いて反乱をおこしたのは誰か。また、その場所は右の地図の A~D のどこか。

(補充問題)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 平将門, B (2) 藤原純友, C



[問題]

平将門は、まわりの武士を率いて中央政府に対して反乱をおこし、武士の力を示した。その当時の中央政府ではどのような政治が行われていたか、次から1つ選べ。

[ 執権政治 院政 藩閥政治 摂関政治 ]

(山形県)

[解答欄]

[解答]摂関政治



【】 院政・平清盛

[院政]

[問題]

11世紀の後半、(桓武天皇／聖武天皇／白河天皇／後三条天皇)は、位をゆずって上皇となった後も、上皇の御所である院でみずからが政治を行い、院政を始めた。文中の( )内より適語を選べ。

(秋田県)

[解答欄]

[解答] 白河天皇

[解説]

摂関政治の最盛期は11世紀前半～中ごろの藤原道長・藤原頼通親子の時代であったが、藤原頼通の娘には皇子が生まれなかったため、1068年に藤原氏との関係がうすい後三条天皇が即位し、荘園の整理などを行った。

[院政]  
1068年 後三条天皇 即位  
(藤原氏と血縁がうすい)  
1086年 白河上皇 が院政 を始める

その後を継いだ白河天皇は東国に勢力をもつ源氏と、西国に勢力をのぼした平氏を用いて、新しい政治を行った。白河天皇は、1086年に位を幼い皇子にゆずって上皇になってからも政治の実権をにぎり、藤原氏に不満をもつ下級貴族等の支持を受けて、摂政・関白をおさえて院政を行った。

白河上皇や、その次の鳥羽上皇は新しい荘園を認める強い力を持ったので、多くの荘園が上皇に寄進された。上皇は寺社を厚く保護したので、寺社も多くの荘園を持ち、武装する僧(僧兵)をかかえて勢力を広げていった。

[問題]

白河天皇は天皇の位を8歳の子にゆずって( ① )となり、院と呼ばれる御所に住んだ。そして、院に移ったあとも政治の実権をにぎった。(①)が動かす朝廷の政治を( ② )という。文中の①、②に適語を入れよ。

(福井県改)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 上皇 ② 院政

[保元の乱・平治の乱]

[問題]

平氏が勢力を大きくのばすきっかけとなったできごとを、次から1つ選べ。

[ 承久の乱 平治の乱 平将門の乱 壇ノ浦の戦い ]

(秋田県)

[解答欄]

[解答]平治の乱

[解説]

上皇が力を持つと、それに不満を持つ天皇もあらわれた。崇徳上皇と後白河天皇の対立が起こり、これに藤原氏一族の争いが結びついて、1156年に、保元の乱が起きた(いいころ(1156)に起こった保元の乱)。

[保元の乱・平治の乱]

1156年 保元の乱 (天皇と上皇の対立)

1159年 平治の乱 (平清盛と源義朝の対立)

1167年 平清盛 が 太政大臣 となる

上皇も天皇も、平氏と源氏の軍を集めて戦った。天皇方が院へ夜討ちをかけ、数時間の戦いで勝った。その結果、後白河天皇方についた平清盛と源義朝が勢力を強めた。しかし、この2人はその後対立を深め、1159年、義朝が清盛を討とうとして敗れ、義朝の子頼朝は伊豆に流された。これを平治の乱という。戦いに勝った平清盛は、1167年、武士としてはじめて太政大臣となり政治の実権をにぎった。(いちいち無理な(1167)清盛さん)

[問題]

次の年表について、後の各問いに答えよ。

年代	おもなできごと
1086年	白河上皇が院政を始める。
1156年	(ア)の乱がおこる。…A
1159年	(イ)の乱がおこる…B
1167年	平清盛が太政大臣となる。

(1) 年表のア、イに適語を入れよ。

(2) 次の①、②の文は年表中のA、Bのどちらとかが深いか。それぞれ、A、Bのいずれかの記号で答えよ。

- ① 武士の棟梁同士の対立と、藤原氏一族の対立から起こった。
- ② 天皇と上皇の対立から起こった。

(補充問題)

[解答欄]

(1)ア	イ	(2)①	②
------	---	------	---

[解答](1)ア 保元 イ 平治 (2)① B ② A

[問題]

源氏と平氏がかかわった保元の乱と平治の乱をきっかけとして、政治権力の担い手がどのように変化したかを説明せよ。

(福井県)

[解答欄]

[解答]武士が政治の上で大きな力をふるうようになった。

[平氏の政治]

[問題]

1167年、武士として初めて太政大臣になった( )は、一族を高い位につけ、権力をふるった。また、港を整備して宋との貿易を行い、多くの利益をあげた。文中の( )内に入れる適語を答えよ。

(栃木県)

[解答欄]

[解答]平清盛

[解説]

平清盛は、兵庫の港を整備して、中国の宋との貿易を行った。清盛は、娘を天皇のきさきとし、その子を天皇にして朝廷の中で実権をにぎった。平氏一族で高い官職

を独占し、多くの公領や荘園を支配した。そのやり方は貴族とかわらないものであったため、貴族や寺社の反感をかい、地方の武士の中にも不満をいだく者が増えた。こうした中、清盛が後白河上皇の院政を停止させると、源氏を中心とする諸国の武士が兵を挙げた。伊豆に流されていた源頼朝や、木曾(長野県)の源義仲が挙兵し、源頼朝の弟である源義経の活躍もあり、1185年に現在の山口県で起こった壇ノ浦の戦いで平氏は滅んだ。

[平氏の政治]

1167年 平清盛が太政大臣となる  
兵庫の港を整備→宋との貿易



[問題]

平清盛は1167年、武士としてはじめて(太政大臣／摂政／大王／関白)の地位につき、中国との貿易による利益を得るため、兵庫の港(大輪田泊)を整備した。文中の( )内より適語を選べ。

(新潟県)

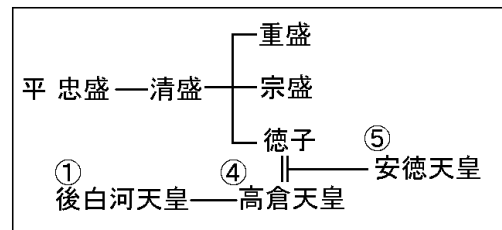
[解答欄]

[解答]太政大臣

[問題]

Bさんは平清盛に関する系図をみつけた。この系図をみると、平清盛は、力をふるったとき、摂関政治を行っていたころの藤原氏とよく似たことを行ったことがわかる。それはどのようなことか。

(埼玉県)



(数字は即位順。後白河天皇と高倉天皇の間に即位した天皇は、この系図では省略しています)

[解答欄]

[解答]娘を天皇のきさきにし、その子を天皇にして自分は天皇の外戚としての立場を獲得した。

[問題]

平清盛が行ったことを述べた文として、正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア はじめて院政を行い、慣例やしきたりにとらわれない政治によって貴族をおさえた。

イ 武士としてはじめて太政大臣となり、一族を朝廷の高い位につけて政治を支配した。

ウ 御家人に裁判の基準を示すために、武家社会の慣習をまとめた御成敗式目を定めた。

エ 建武の新政に不満な武士をまとめて兵をあげ、京都に幕府を開き守護の権限を強めた。

(宮城県)

[解答欄]

[解答]イ

【解説】

ア：1086年、白河上皇は上皇の御所で院政を始めた。ウ：1232年、北条泰時は、武家社会の慣習をまとめ、裁判の基準を示した御成敗式目(貞永式目)をつくった。エ：1338年、足利尊氏は京都に幕府を開いた。

【問題】

平清盛は、平治の乱に勝利し政治の実権を握り、武士として初めて①(関白／太政大臣／征夷大將軍)になった。清盛は、兵庫の港を整備するなどして、中国の②(唐／宋／明)との貿易に力を入れた。文中の①、②の( )内からそれぞれ適語を選べ。

(熊本県)

【解答欄】

①	②
---	---

【解答】① 太政大臣 ② 宋

【問題】

平清盛は、中国との貿易を推進するために港を整備した。

①それはどこの港か。下の[ ]から1つ選べ。

②また、その港の位置を右の地図のア～エから1つ選べ。

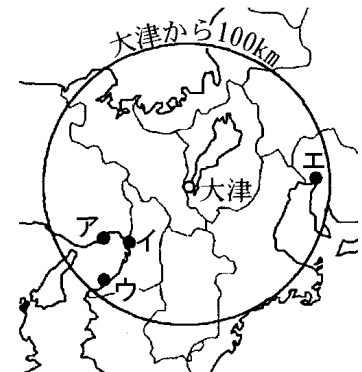
[ 堺 兵庫 博多 長崎 ]

(奈良県・滋賀県)

【解答欄】

①	②
---	---

【解答】① 兵庫 ② ア



【問題】

平清盛が兵庫の港を整備した理由を、当時の外国との関係から、国名を入れて、簡潔に書け。

(大分県)

【解答欄】

--

【解答】宋との貿易をさかんにするため。

[問題]

瀬戸内海を航行する人々の守り神をまつり，平清盛が信仰した神社で，現在は世界遺産となっているものを何というか。

(石川県)

[解答欄]

[解答]巖島神社

[印刷／他の PDF ファイルについて]

※ このファイルは、FdData 入試社会歴史(6,800 円)の一部を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版の FdData 入試社会歴史は Word の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

※FdData 入試社会・入試理科全分野の PDF ファイル、FdData 中間期末(社会・理科・数学)全分野の PDF ファイル、および製品版の購入方法は <http://www.fdtype.com/dan/> に掲載しております。

【Fd 教材開発】(092) 404-2266

Mail : info2@fdtext.com